

宇宙への夢広げて

8月に帯広でタウンミーティング JAXA 帯広

土井隆雄宇宙飛行士も来帯へ

JAXA・宇宙航空研究開発機構(本部・東京)は8月に帯広市内で、宇宙事業への啓発を目的に全国各地で展開しているタウンミーティングを開催する。日本人宇宙飛行士の土井隆雄さんらが講師として来帯する予定。十勝の関係者は、航空宇宙産業基地構想(大樹)の機運の高まりを期待している。(能勢雄太郎)

JAXAが昨年からは、基地構想研究会(会長・報・教育活動の二環とし、砂川敏文市長)が全面的にバックアップする。講師として来帯する予定の土井さんは1997年11月にスペースシャトル「コロンビア号」に搭乗。日本人宇宙飛行士として初めて船外活動(国際宇宙ステーション組み立て)に使う機器の試験などを行った。

JAXAでは「宇宙事業団の広報活動と同時に、子供たちに宇宙対

する夢を抱いてもらうのが目的。地元帯広市と開催概要を話して、幅広く参加を呼び掛けた」と話している。

土井さんに関しては、今後予定されているミッションの日程次第で、来帯が変更される可能性がある。

JAXAが昨年からは、帯広市との共催で道内では初開催。現時点では8月28日に開催する予定で、十勝圏航空宇宙産業